

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻 15 時 00 分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1 / 9)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第25382報)

2024年2月26日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (2.4時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [2月26日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 2月25日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 2月25日] ・海水分析結果<港湾内> [採取日 2月25日] ・海水分析結果<発電所から3km以内> [採取日 2月25日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>A L P S 処理水測定・確認用タンクB群の当社及び当社が委託した外部機関による分析結果については、放出可能であることを確認したため、2月28日から放出を開始します。</p> <p>放出開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L P S 処理水 測定・確認用タンク水の排水前分析結果 [採取日 12月22日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無し (注4)</p>
その他の事項の対応(注5)	なし

(2/9)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合、また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は、その発生日時、観測用地震計の加速度gal数(水平方向、鉛直方向)を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は、本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお、様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

(3/9)

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2024年2月26日 11:00現在

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

		1号機		2号機		3号機		4号機	
原子炉注水状況	給水系: 24 m ³ /h CS系: 13 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.3 m ³ /h	給水系: 1.9 m ³ /h CS系: 1.9 m ³ /h						
原子炉圧力容器 各部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.8 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 12.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.3 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 24.4 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 25.5 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69H1): 16.8 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 16.5 °C						
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.4 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.4 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 24.8 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 24.9 °C	PCV温度 (TE-16-002): 15.5 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 16.2 °C						
原子炉格納容器 圧力	0.54 kPa.g	1.69 kPa.g	0.53 kPa.g						
窒素投入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 16.96 Nm ³ /h (JP-A): 15.80 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 661 Nm ³ /h RPV-B: 649 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 7.99 Nm ³ /h RPV-B: 8.09 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4						
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.3 m ³ /h	19.79 Nm ³ /h	23.63 Nm ³ /h						
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.05 vol% B系: 0.04 vol%	A系: 0.32 vol% B系: 0.32 vol%						
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 検出限界値 1.12E-03 Ba/cm ³ 5.29E-04 B系: 指示値 検出限界値 1.02E-03 Ba/cm ³ 3.56E-04	A系: 指示値 検出限界値 ND Ba/cm ³ 1.2E-01 B系: 指示値 検出限界値 ND Ba/cm ³ 1.2E-01	A系: 指示値 検出限界値 ND Ba/cm ³ 1.9E-01 B系: 指示値 検出限界値 ND Ba/cm ³ 1.9E-01						
使用済燃料プール 水温度	21.1 °C	19.8 °C	※5						
FPC1特種リフト 水缸	4.69 m	2.90 m	3.33 m						
			32.8 x 100mm						

【特報欄に適用する特報】
※1: 指示値が0.00vol%と表示する。0.00vol%未満の値は、計測精度によりマイナスイオン濃度で表示される場合があります。
※2: 指示値が放射能濃度の単位Ba/cm³と表示する。原子炉格納容器内温度を監視する。
※3: 計測精度の単位は、圧力で標準単位に換算される。
※4: 窒素投入停止中。
※5: 全格納容器の排気流量を示す。

【取組事項】
各計測機について、年度毎の検定精度の確保を期して、通常の定期検定業務を
追加しているものもあり、正しく補正されていない可能性のある計測機も存在している。
プラントの状況を把握するために、このように対処の必要性を考慮し、年度毎、検定
の計測機から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して検定に当添している。

(4/9)

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2024/02/25 06:50	< 3.4E+00	< 4.6E+00	< 3.9E+00
プロセス主建屋北東	2024/02/25 07:10	< 4.2E+00	< 4.6E+00	< 3.5E+00
プロセス主建屋南東	2024/02/25 07:15	< 4.1E+00	< 4.6E+00	< 4.8E+00
維固体廃棄物減容処理建屋南	2024/02/25 07:00	< 4.4E+00	< 4.9E+00	< 5.3E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2024/02/25 07:05	< 3.7E+00	< 3.7E+00	3.8E+01
維固体廃棄物減容処理建屋北	2024/02/25 06:55	< 3.3E+00	< 5.2E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2024/02/25 07:20	< 3.9E+00	< 4.6E+00	< 3.9E+00

不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

判定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

0.0E±0 とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読み。

サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

(5/9)

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2024/02/25 06:41	< 2.9E+00	< 4.6E-01	1.3E+00
物揚場排水路	2024/02/25 06:51	< 2.9E+00	< 7.4E-01	< 7.3E-01
K排水路	2024/02/25 06:00	4.7E+00	< 4.1E-01	4.6E+00
BC排水路	2024/02/25 06:00	< 2.9E+00	< 7.9E-01	< 7.4E-01
D排水路	2024/02/25 06:46	< 2.9E+00	< 5.4E-01	< 5.6E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は4 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

(6/9)

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5号機取水口前	2024/02/25 07:41	1.3E+01	< 2.5E-01	< 2.9E-01
1F 物揚場前	2024/02/25 06:36	1.3E+01	< 2.6E-01	< 2.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2024/02/25 06:31	< 1.1E+01	< 2.9E-01	8.5E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2024/02/25 06:40	< 1.1E+01	< 3.1E-01	1.8E+00
1F 港湾口	2024/02/25 06:54	1.6E+01	< 3.4E-01	< 3.6E-01
1F 港湾中央	2024/02/25 06:45	< 1.4E+01	< 2.9E-01	3.3E-01
1F 港湾内東側	2024/02/25 06:48	1.4E+01	< 3.2E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内西側	2024/02/25 06:43	1.7E+01	< 3.0E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内北側	2024/02/25 06:40	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内南側	2024/02/25 06:51	< 1.3E+01	< 2.5E-01	< 2.6E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

*1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(7/9)

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<発電所から3km以内> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2024/02/25 07:16	—	< 8.7E-01	< 8.7E-01
1F 南放水口付近 (T-2)	2024/02/25 06:56	1.3E+01	< 5.5E-01	< 7.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
1F 敷地北側沖合1.5km (T-A1)	—	—	—	—
1F 敷地沖合1.5km (T-A2)	—	—	—	—
1F 敷地南側沖合1.5km (T-A3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

・不符号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

2024年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

ALPS処理水 測定・確認用タンク水の排水前分析結果 (1/2)

試料名	ALPS処理水 測定・確認用タンク水	8群
採取日時	2023年12月22日	11時19分
貯留量 (m ³)	8914	
要約	測定・評価対象核種(29核種)	告示濃度比総和
	0.34	(未測定を除外)

放射能分析 測定・評価対象核種(29核種)

No.	核種	分析結果				告示濃度限度に対する比		告示濃度限度 ※2 (Bq/L)	分析値の求め方 ※4
		分析値 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)	分析値 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)	東京電力	(株)化研		
1	C-14	1.4E+01	1.7E+00	1.4E+01	9.7E-01	± 9.8E-01	7.1E-03	測定	
2	Mn-54	ND	2.4E-02	ND	2.5E-02	—	2.5E-05 未測定	測定	
3	Fe-55	ND	1.4E+01	ND	1.1E+01	—	5.4E-03 未測定	測定	
4	Co-60	3.4E-01	2.3E-02	3.0E-01	2.7E-02	± 4.7E-02	1.5E-03 未測定	測定	
5	Ni-63	ND	9.7E+00	ND	5.9E+00	—	9.9E-04 未測定	測定	
6	Se-79	ND	1.1E+00	ND	8.2E-01	—	4.1E-03 未測定	測定	
7	Sr-90	3.1E-01	3.9E-02	3.1E-01	6.3E-02	± 5.2E-02	1.0E-02 未測定	測定	
8	Y-90	3.1E-01	3.9E-02	3.1E-01	6.3E-02	± 5.2E-02	1.0E-02 未測定	測定	
9	Tc-99	3.4E+00	8.4E-02	3.3E+00	3.3E-03	± 3.9E-01	3.4E-03 未測定	測定	
10	Ru-106	ND	2.5E-01	ND	2.7E-01	—	2.7E-03 未測定	測定	
11	Sb-125	1.1E-01	9.2E-02	ND	1.1E-01	—	1.4E-04 未測定	測定	
12	Te-125m	4.0E-02	3.4E-02	ND	4.1E-02	—	4.6E-05 未測定	測定	
13	I-129	2.5E+00	3.5E-02	2.5E+00	6.5E-02	± 2.7E-01	2.8E-01 未測定	測定	
14	Cs-134	ND	3.4E-02	ND	2.9E-02	—	4.9E-04 未測定	測定	
15	Cs-137	5.0E-01	2.7E-02	5.2E-01	2.9E-02	± 7.0E-02	5.7E-03 未測定	測定	
16	Cs-144	ND	3.7E-01	ND	3.8E-01	—	1.9E-03 未測定	測定	
17	Pm-147	ND	3.3E-01	ND	3.2E-01	—	1.1E-04 未測定	測定	
18	Sm-151	ND	1.3E-02	ND	1.2E-02	—	1.5E-06 未測定	測定	
19	Eu-154	ND	7.4E-02	ND	7.2E-02	—	1.8E-04 未測定	測定	
20	Eu-155	ND	2.0E-01	ND	2.0E-01	—	6.5E-05 未測定	測定	
21	U-234	ND					20	全0	
22	U-238	ND					20	全0	
23	Np-237	ND					9	全0	
24	Pu-238	ND					4	全0	
25	Pu-239	ND					4	全0	
26	Pu-240	ND					4	全0	
27	Am-241	ND					5	全0	
28	Cm-244	ND					7	全0	
29	Pu-241	ND	7.0E-01	ND	6.4E-01	—	3.5E-03 未測定	測定	
							3.4E-01 未測定	測定	

NDは検出限界未満を示す。

Cs-137は、0.0x10⁰であることを意味する。

例) 3.1E+01は3.1x10¹で3.1, 3.1E+00は3.1x10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読み取る。

※1 「不確かさ」とは分析値のばらつきを評価している。

※2 東京電力が株式会社福島第一原子力発電所原子力施設敷地の保安及び汚染防止のために定める放射能濃度

※3 放射能濃度の告示濃度限度に列挙するものは、評価対象核種のうち最も低い告示濃度限度で評価する。

※4 分析値の求め方は以下のとおり。

測定：放射能濃度測定装置を用いて測定。

全0：検出限界未満、元素量を測定し、分析することによって放射能濃度の測定を求める。

放射能濃度測定：放射能濃度測定装置を用いて測定。

相対比評価：原子炉内に存在している放射性核種の評価値を元に、放射性核種の濃度を考慮して求める。

(9/9)

ALPS処理水 測定・確認用タンク水の排水前分析結果 (2/2)

要約	17万 Bq/L (100万Bq/L未満を確認)
----	--------------------------

放射能分析 トリチウム

No.	核種	分析結果				分析目的	分析種の求め方 ※3	
		分析値 (Bq/L)	東京電力 不確かさ ※1 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)	分析値 (Bq/L)			(株)化研 不確かさ ※1 (Bq/L)
1	H-3	1.7E+05	± 9.1E+03	1.7E+01	1.6E+05	± 1.2E+04	2.5E+02	測定

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(注) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。

「不確かさ」は「係数k=2」を用いて算出している。

※2 希釈後のトリチウム濃度が1500Bq/L未満となるよう、実測計画に定めた上限の濃度1E+06Bq/L未満(100万Bq/L未満)であることを確認する。

※3 分析種の求め方は以下のとおり。

測定：放射能強度、元素量を直接計測・分析することによって放射性核種毎の濃度を求める。